



お宅の

住宅用火災警報器の 設置・維持管理を行いましょう

設置して
ありますか？



設置後
10年を超えて
ませんか？

建物火災の
死因は…

第1位 一酸化炭素中毒・窒息 37.6%

第2位 火傷 35.7% その他 26.7%

令和元年版 消防白書(平成30年中)

火災発生当初は、洗濯物や布団などにくすぶるように燃え広がる時に、
一酸化炭素(CO)を発生し、中毒症状になってしまいます。

そんな
火災に
備えて

すばやく一酸化炭素(CO)をキャッチして警報を鳴らす

**CO検知機能付き
住宅用火災警報器**もお勧めします。



(一社)新潟県LPガス協会・各支部販売事業者/新潟県防災局消防課・県内各消防本部

あなたと家族の命を守る！住宅用火災警報器

設置場所はどこがいいの？

設置例

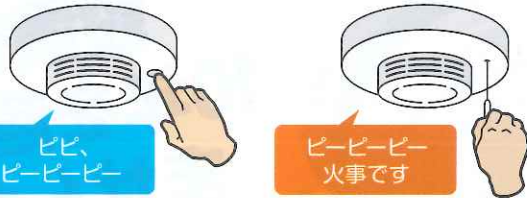
- 1 全ての寝室と階段**
(寝室が2階以上にある場合)
に必ず設置してください。
・全ての住宅に設置が義務付けられています。
- 2 台所、居間など火気を取り扱う場所**
への設置もお勧めします。
- 3 作動テストなど定期的な維持管理を**
お願いします。
(電池切れや故障している場合があります)



必ず設置 設置をお勧め

住宅用火災警報器が電池切れしたり、故障していないか ボタンを押すか、ひもを引いて確認しましょう。

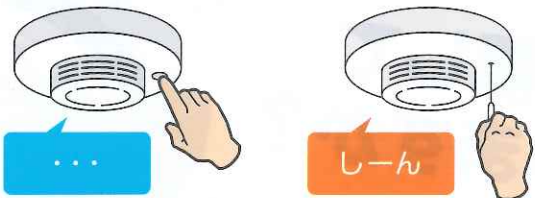
正常をお知らせするメッセージ
または火災警報音が鳴る。



警報音はメーカーや製品により異なります。

引き続き1ヶ月に1回
作動確認をお願いします。

ランプの点滅または音が鳴らない



電池がきちんとセットされているかご確認ください。

電池切れか機器本体の故障です。
取り扱い説明書をご覧ください。

住宅用火災警報器は 10年を目安に交換をしましょう。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れ
などで火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換しましょう。

住宅用火災警報器
交換のおすすめ
10年たったら、
とりカエル。



LPガス販売店名